



Kawajo が、
わたしに
くれたもの

graduates

Graduate's voice

国際英語学科

塚本 香月さん (2017年3月卒業)

茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 出身

留学しても4年間で卒業できる交換留学制度に惹かれ、Kawajoへの進学を決めました。海外生活に必要な英語力を養うプログラムや授業が充実していたことも、志望理由の一つです。かねてからの念願だったチチェスター・カレッジへの留学が実現したのは3年次。イギリスでは留学生向けのカリキュラムのほか、現地学生しか履修できないホスピタリティの授業にも志願して、語学力の向上に努めました。学内にあるレストランで働く機会もいただいて英語で接客する楽しさを知り、自分の語学力にも自信を持てるようになりました。航空業界で働く今があるのは、在学中に積極的に学ぶ姿勢を身につけられたからでしょう。これからも歩みを止めず、高みを目指して努力を続けます。



Graduate's voice

史学科

若松 虹那さん (2020年3月卒業)

茨城県立水海道第一高等学校 出身

在学中は、2つの資格取得と「韓国服飾文化」の卒業論文に全力を投じました。卒業論文は参考となる文献や史料が少なく、先生にアドバイスをいただきながら苦労して素材を集めました。当時は大変だったその経験が、情報を集約する力や広い視野の獲得へとつながり、今も新卒生に向けた施策の提案や研修カリキュラムの作成に活かされています。全力で取り組む姿勢はKawajoで学んだことで自然に身についたと思っています。

Graduate's voice

生活文化学科

長島 光さん (2022年3月卒業)

私立常総学院高等学校 出身

勉強と実習に明け暮れた4年間は、夢へ近づく高揚感と探究心に満ちた毎日でした。忘れられないのは、給食管理実習です。小学校の給食室で実際に調理する機会をいただき、喫食してもらう喜びを体感すると同時に仕事のやりがいもはっきり認識できました。思い描いていた自分になれたのは、Kawajoで栄養士の基盤を築けたからだと確信しています。

